



特産のそば



間伐の様子



人工林の杉林



高冷地野菜のキャベツ



トルコギキョウの栽培

【林業の振興対策】
 多様な森林施業をより効率的かつ低コストで行うために森林環境譲与税等を活用し、林道・作業道等をはじめとした生産基盤を整備するとともに、森林の有する公益的機能の増進のため複層林・長伐期施業を推進し、本地区特有の自然条件を背景に活力ある森林づくりを目標として振興を図っていきます。

農林業の多面的機能
を有する阿蘇

農林業を営むことで、国土の保全、九州の水源地涵養、圃場の地水機能、自然環境の保全、良好な景観の形成が図られ、災害に強い環境が整います。

また、先人の貴重な技術や食文化の伝承、地産地消による学校の食育活動や農福連携など、多面的な機能が発揮され、私たちの生活に大切な役割を持っています。

地域の特性を生かした阿蘇ならではの農業



トマト（夏秋）

いちご



アスパラガス

阿蘇市は、比較的平坦な地域とそれを取り巻く山間地域で形成され、それぞれ地域の特性をいかした営農形態の中で農業経営が行われています。

比較的平坦な地域では、水稻をはじめ麦・そば・大豆の土地利用型と畜産が中心でトマトやアスパラガス、イチゴなどの施設園芸も盛んです。畑作物が中心の山間地域では、高冷地野菜・そば・花きなどが盛んで、中でもキャベツは九州有数の生産地です。

【農業振興対策】
 高齢化や担い手不足が深刻になっている中で、スマート農業等の新技術の活用により作業の効率化・省力化を推進し、限られた地域の担い手による農地の維持と同時に経営基盤の強化を図り安定した経営のできる農業の政策を展開します。

また、新規就農者の技術取得のための研修や就農後のサポートに関係機関と連携して実施し、確実の就農、後継者の確保に取り組んでいます。

元気のある農業で継続性のある農村を目指して

農産物ブランド化と、地域農業の再生を図る。



【畜産の振興対策】
 阿蘇の広大な草原の維持や環境改善には畜産の連携は重要なものです。

草原を利用した周年放牧などの推進、効率的で生産性の高い畜産経営の育成により自然資源の維持が図られます。

また、耕種の水田作物と畜産の堆肥提供との耕畜連携の強化を含めた有機資源循環の推進により自然環境の改善が図られます。

このように水田と草原を利用した畜産経営の効率的な安定化の強化に取り組んでいます。



ドローンによる防除



実りの秋の稲刈り作業

春

夏

秋

冬



季節ごとの阿蘇の田園風景



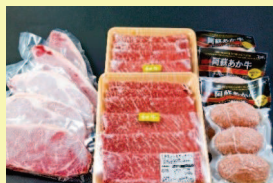
「阿蘇たかな漬」
 混ぜご飯の具としても最適で、「たかな飯」は地元料理の定番となっています。



開発・推進を図っていきます。



波野高原そばで作ったそば商品



あか牛を使った商品



農産物加工グループなどの商品

農産物加工品

阿蘇市では、地域を活性化していく手段として、地元的美味しく新鮮な野菜などを使い、市販品では味わえない豊かで美味しい農産物加工品を開発・商品化してきました。

「阿蘇たかな漬・あか牛」をはじめ、阿蘇の農産物を用いるさと納税の返礼品やネット販売等により全国で購入ができて知名度が上がっておりま

す。加工品は、農産物の推進、そして農業の振興には欠かせないものです。今後も農産物加工品の開発・推進を図っていきます。